

接続された電話機が鳴らない場合のSPA112およびSPA122のトラブルシューティング

目的

このドキュメントでは、SPA112およびSPA122に接続された電話機が呼び出しに失敗した場合のトラブルシューティング方法について説明します。電話機が鳴らない場合は、電話機のコール転送機能が有効になっていることを意味します。ユーザは、回線でスロートーンが発生すると、電話機のコール転送機能が有効になっていることを認識しています。呼び出し音が鳴らない電話機は、リング電圧と波形タイプの変更の2つの方法でトラブルシューティングできます。リング電圧は、ユーザが常駐する居住者の電圧に依存します。波形は、台形から正弦波または正弦波から台形に変更できます。設定されます。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- SPA112 | 1.3.2.(014) (最新のダウンロード)
- SPA122 | 1.3.2.(014) (最新のダウンロード)

概要

モデルとファームウェアのバージョンに応じて、SPA電話機はInternet Telephony Service Provider(ITSP)またはIP Private Branch Exchange (PBX ; 構内交換機) のコール制御サーバからのサービスを使用できます。WebEx Calling、Ring Central、およびVerizonはITSPの例です。SPA電話機で動作するIP PBXサービスの例には、Asterisk、Centile、およびMetaswitchプラットフォームがあります。

SPAシリーズはコールコントローラを使用します。コールコントローラは、コールパーク、ボイスメール、発信者IDなどのサービスを提供する別のシステムです。SPA電話機は特定のコールコントローラを使用しないため、アクセスと手順は異なります。

各コールコントローラは異なる手順を実行できるため、動作の仕組みを正確に説明することはできません。特定のコマンドに関する情報とヘルプについては、選択したプロバイダーのヘルプサイトを参照してください。管理者がいる場合は、詳細と可能なトレーニングについて担当者に問い合わせてください。

ただし、SPA電話機の設定方法によっては、次の手順が機能する場合と機能しない場合があります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

鳴らない電話機のトラブルシューティング

この問題は2つの方法で解決できます。

リング電圧

ステップ1：電話アダプタ設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Regional]を選択します。[Regional]ページが開きます。

Regional

Call Progress Tones

Dial Tone:	350@-19,440@-19;10(*0/1+2)
Second Dial Tone:	420@-19,520@-19;10(*0/1+2)
Outside Dial Tone:	420@-16;10(*0/1)
Prompt Tone:	520@-19,620@-19;10(*0/1+2)
Busy Tone:	480@-19,620@-19;10(.5/5/1+2)
Reorder Tone:	480@-19,620@-19;10(.25/.25/1+2)
Off Hook Warning Tone:	480@-10,620@0;10(.125/.125/1+2)
Ring Back Tone:	440@-19,480@-19;*(2/4/1+2)
Ring Back 2 Tone:	440@-19,480@-19;*(1/1/1+2)
Confirm Tone:	600@-16;1(.25/.25/1)
SIT1 Tone:	985@-16,1428@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.380/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT2 Tone:	914@-16,1371@-16,1777@-16;20(.274/0/1,.274/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT3 Tone:	914@-16,1371@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.380/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT4 Tone:	985@-16,1371@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.274/0/2,.380/0/3,0/4/0)

Ring and Call Waiting Tone Spec

Ring Waveform:	<input type="text" value="Trapezoid"/>	Ring Frequency:	<input type="text" value="20"/>
Ring Voltage:	<input type="text" value="90"/>	CWT Frequency:	<input type="text" value="440@-10"/>
Synchronized Ring:	<input type="text" value="no"/>		

[Ring and Call Waiting Tone Spec]領域で、次の操作を実行します。

ステップ2:[Ring Voltage]フィールドに入力した[Ring Voltage]の値が、国の設定に従っているかどうかを確認します。呼出電圧は、着信コールが電話回線にあるときに再生されるデジタルサウンドファイルです。そうでない場合は、[Ring Voltage]フィールドに国の適切なリング電圧値を入力します。たとえば、米国の一般的なリング電圧は90V(20Hz)です。この電圧は、セントラルオフィスまでの距離、回線状態などによって異なる場合があります。

注：この操作を実行する際は、Ring Voltageの値が国によって設定された特定の値を超えないようにしてください。たとえば、米国の場合、90Vを超える値に達してはなりません。

ステップ3:[Submit]をクリックし、設定を保存します。

波形タイプの変更

ステップ1：電話アダプタ設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Regional]を選択します。[Regional]ページが開きます。

Regional

Call Progress Tones

Dial Tone:	350@-19,440@-19;10(*0/1+2)
Second Dial Tone:	420@-19,520@-19;10(*0/1+2)
Outside Dial Tone:	420@-16;10(*0/1)
Prompt Tone:	520@-19,620@-19;10(*0/1+2)
Busy Tone:	480@-19,620@-19;10(.5/5/1+2)
Reorder Tone:	480@-19,620@-19;10(.25/25/1+2)
Off Hook Warning Tone:	480@-10,620@0;10(.125/.125/1+2)
Ring Back Tone:	440@-19,480@-19;*2/4/1+2)
Ring Back 2 Tone:	440@-19,480@-19;*1/1/1+2)
Confirm Tone:	600@-16;1(.25/25/1)
SIT1 Tone:	985@-16,1428@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.380/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT2 Tone:	914@-16,1371@-16,1777@-16;20(.274/0/1,.274/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT3 Tone:	914@-16,1371@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.380/0/2,.380/0/3,0/4/0)
SIT4 Tone:	985@-16,1371@-16,1777@-16;20(.380/0/1,.274/0/2,.380/0/3,0/4/0)

Ring and Call Waiting Tone Spec

Ring Waveform:	<input type="text" value="Trapezoid"/>	Ring Frequency:	<input type="text" value="20"/>
Ring Voltage:	<input type="text" value=""/>	CWT Frequency:	<input type="text" value="440@-10"/>
Synchronized Ring:	<input type="text" value="no"/>		

[Ring and Call Waiting Tone Spec]領域で、次の操作を実行します。

ステップ2:[Ring Voltage (リング電圧)]ドロップダウンリストから、[Sinertic (正弦波)]または[Prephaid (台形)]のオプションを選択します。Ring Waveformフィールドで波形の種類をSinonicからPrephaidまたはPrephaidからSphaidに変更しても、問題が解決する可能性があります。これらの波形は、SIPプロバイダーによって設定されます。

ステップ3:[Submit]をクリックし、設定を保存します。

SPA112またはSPA122に関するすべてのシスコの記事へのリンクを含む、詳細については、次のリンクを参照してください。

- [Cisco SPA112 ATAルータ製品ページ](#)
- [Cisco SPA122 ATAルータ製品ページ](#)